

## 『交渉術』（3月10日配信）

こんにちは、戸田です。

今回は、かくれんぼにおける交渉術についてお話しします。以前、Youtubeでかくれんぼの遊び方をご紹介しましたよね。見ていただければわかりますが、鬼の子が多く、隠れる子が少ないのが特徴です。じゃんけんで決めるのではなく、隠れる子は立ち、鬼の子は座ります。隠れる子が隠れてから少しして大勢の鬼が探しに行くという方法です。

少し前に、3歳の男の子と4歳の男の子の3人でかくれんぼを始めました。3歳の子は隠りたいので立ちます。しかし4歳の二人も隠れたいと言います。2対1でさらに年上から鬼をやれと言われて言い負かされてしまいそうになると、部屋を出て行ってしまいました。私は呼び止めることはせず、様子を見守りました。4歳の二人は、そのまま二人でかくれんぼをしようと役を決めていた時、3歳の子が戻ってきました。それも5歳の子を連れてです。なんで連れてきたのかと様子を伺っていると、3歳が4歳に向かって5歳がお前たちが鬼をやれと言ってるぞと言いました。自分だけでは言い負かされてしまうので、4歳よりも年上の5歳を連れて来たのです。4歳の二人は、鬼役のためイスに座りました。でも面白いのは、5歳の子がなぜ自分が連れて来られたのか把握できていなかったことです。3歳に連れてこられただけで目的がわかっていません。それでも4歳からすると5歳が来たことで従うしかないといった感じでした。3歳の子が隠れることになり、かくれんぼが始まりました。

3歳のより年上を連れてくる交渉術は大したものですね。